

蔵地台地

～ 「夢」と「高森の心」を育み、
挑戦し続ける学校 ～

熊本県高森町立高森東学園義務教育学校
【学校便りNo. 37】 H31. 1. 24 文責：塩村

“児童生徒会は、あなたが主役です！” ～ 「児童生徒会役員引き継ぎ式」を実施（1/15）～

先日、児童生徒会役員選挙で選ばれた役員と旧役員の引き継ぎ式が行われました。これまで先頭に立って学校を引っ張ってきてくれた旧役員のみなさん、本当にありがとうございました。みなさんの頑張りのお陰で、2年目の義務教育学校がまとまり、新たな伝統を築くことができましたと思います。行事や日常的な活動等、いろんな場面において、全校児童生徒を導いてくれました。その頑張りに、心から感謝の意を表します。



【旧役員の方々】



【新役員の方々】

新役員となったみなさん、これまで受け継がれてきた伝統の上に、みなさんの知恵と工夫を最大限に発揮しながら、義務教育学校3年目につながる新たな伝統を生み出してほしいと思います。みなさんの活躍に期待しています。

しかし、学校は、役員の方だけではうまくいきません。全校児童生徒のみなさんの協力が不可欠です。役員を中心としながらも、全員で取り組んでいくことが大切です。そのためは、あなたが「一人一人が児童生徒会の一員であり、主役である」という自覚をもって行動することが何より重要です。

今から60年ほど前に、アメリカのケネディ大統領は就任演説で、次のように述べています。“Ask not what your country can do for you ; ask what you can do for your country.”（国があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国のために何をなすことができるのかを問うてほしい。）アメリカ国民に対して、受け身ではなく、国民一人一人が主役となって国を繁栄させてほしいとの願いがこめられていると思います。同様に、児童生徒のみなさんには、下の英文のように、「学校があなたのために何をしてくれるかを待つのではなく、学校のために何ができるか考えてほしい」と願っています。

児童生徒のみなさん、新役員を中心に、お互いに協力し合って、新たな義務教育学校の伝統を創り上げていきましょう！

“Ask not what your school can do for you;
ask what you can do for your school.”

